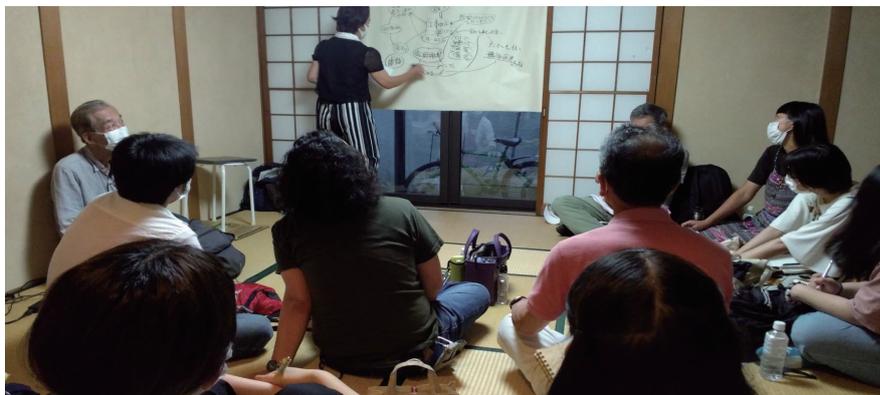


おっちゃんだより

合同勉強会を致しました。

名古屋は様々な小さな団体がホームレス支援や炊き出しをしています。その中の一つに、毎週火曜日に炊き出しをしている「ボランティアオアシス」と言う団体があります。ここ2年前から私たちと協力関係にあり、野宿している人を連携しながら共同で支援をし始めました。2022年5月～オアシスが行う夜回りに東岡も参加しています。ボランティアオアシスもホームページを常に更新されていて、「何かしたい！」と若い人たちがたくさん集まって来ています。しかし、野宿する人達の事がよく分からない事もあるので、6月25日にオアシスと私たちの会との合同で勉強会をし25名の方が集まりました。東岡が「日本の貧困の連鎖」の話を図を使って話をしました。若い人の中からこれらの事を真剣に取り組む人が増えればいいなあ～と思いました。



「野の花で東岡が貧困の図を説明している様子」

★★★

★★★

3名の方がアパートに入られました。

【アパートに入られた方 パート1】

10年間野宿していた川上さん(仮名)は身体の調子が悪くなり、ついにはアパートに入る決心をして5月26日に信頼している宣教師さんの近隣のアパートに入りました。ところがお金の使い方がよく分からなくてお金を必要以上に使ってしまった。話し合いをした結果しばらくは食糧支援をし、週に1回の訪問も始めました。それから川上さんは「ありがとうな～」や「世話になるな・・・」と今まで使わない言葉を言い始めました。みんな誰でも誰かの世話になっているのですね！私たちも！



「川沿いで野宿していた大分さんと、ここでいろいろな話をしました」

【アパートに入られた人の話パート2】

木下さん(仮名)は75歳まで手続きしなかった年金の手続きをしたところ、まとまったお金が入る事が分かったので野宿をやめ7月28日にアパートに入られました。入居日に寄付でもらったマットを持って行ってお祝いをしました。しばらくすると「今まで腰痛で苦しんでいたがあのマットのお蔭で腰痛もなくなり、コルセットが取れたよ！」と喜んでくれました。今まで狭いテントの中で丸くなりながら寝ていましたが、今は伸び伸び寝られます。

【アパートに入られた人の話パート3】

大分さん(仮名)は野宿していましたが生活保護を申請して、植田寮に入りましたが、そこではアパート生活への指導や支援もなく、雰囲気の良い大部屋で長い間放置されていましたので退寮され野宿に戻られました。今度は「貧困ビジネス」の勧誘に引っ掛かり、悪質な「無料低額宿泊所」に入られましたが、あまりにも悪い環境なので「そこも出られた」と区の巡回相談員から連絡が入り、私たちは早速、会いに行きました。寝袋や衣類、食糧を支援しようとしたのですが大分さんは「やっぱりアパートに入りたい」と言われました。その日の内にアパートを持っている友人に連絡し、今一部屋空いている事を確認したので、大分さんに話をし、翌日にアパートを見学して「ここに入りたい！」と言われました。早速家主と相談し、8月15日に生活保護を申請しアパートに入りました。9月1日に訪問した際には「一人で寂しい」と言われたので、毎週月と木曜日に行っている炊き出しへ一緒に行き、ボランティア仲間を紹介しました。今、大分さんは炊き出しのボランティをしながら、新しい仲間も出来始めて新しい人生を生きています。「人と人を繋ぐ」ってとても大切な事ですね！



「大分さんのアパートへ月に1回訪問している様子」

●編集後記

「おっちゃんだより No6」から、また、時間がかかってしまって申し訳ありません。屋巡回やその他のホームレス支援に必死で、皆さまに報告することを怠ってしまったことを反省します。野宿の人の事を大切するのと同じで、支援して下さる皆様の事も大事だと再び思いました。今後とも支援よろしく願います。

●発行所「野宿者を支援する会」代表 東岡牧 ●連絡先：higashiokamaki@yahoo.co.jp ホームページ：http://higashioka-maki.net/
●活動拠点：名古屋市中区新栄2-36-5「野の花」 ●寄付の受け：ゆうちょ銀行：記号12090 番号14146781『野宿者を支援する会』